

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	造形	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	選択（1群）
使用教材	教科書	(学校設定科目につきなし)							
	副教材	・各課題におけるプリント・用具 ・筆記用具 ・その他							

学習目標

立体としての構造的な見方や、量感、バランス、強弱、骨格等の表現を身に付ける。また、工芸分野の制作を通しては、造形性や機能性を考える。また、様々な素材での表現活動を通し、美術への関心を高める。

学習方法

- ・課題において自分のテーマを考えスケッチを描く。また必要な資料集めをする。
- ・立体としての構造を理解するために様々な方向からスケッチする。
- ・簡単な素材でエスキース（習作）を試作し本番の立体制作を行う。
- ・展示、鑑賞。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間制作に打ち込んでいるか。 ・最後まで諦めずに作品の完成度を高めているか。 ・技術を身につける努力をしているか。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題テーマに対し、自己表現、表現方法を探求しているか。 ・参考資料の活用。 ・課題テーマに対しての資料集め。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な技能や工夫。
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し考察、探求する能力。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み方	◎	◎	○	◎	
各課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

自分が持っている感性を信じ、向上心を持って制作する。

失敗を恐れなくて、諦めず制作すること。

ただ手を動かす作業としてではなく、考えながら表現活動をする制作活動として授業に取り組むこと。

作品のうまい下手ではなく、基礎的な学習を通して、しっかりと知識、技能を身に付け辛抱強くコツコツ「ていねい」に進めることが大切。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆オリエンテーション ◆立体図づくり(3時間) ◆塑像 「手」 (20時間) <ul style="list-style-type: none"> ・素材の特徴と用具の使い方 ・手のスケッチ ・テーマを決める ・心棒の作り方 ・制作 ・展示 ・振り返り 	<p>手の表情を工夫して表すことで、生命感や存在感のある彫刻を制作する。</p> <p>テーマを決めることで感情や意味が伝わるような工夫をし、制作する。</p>	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業について ・立体的な形の取り方を練習する。 ・手を描く。正面、横といろんな角度から自分の手の形を探り、スケッチ ・感情や意味を伝えるためテーマを決める。 ・粘土をつけていく心棒を作る。 ・スケッチと自分の手の形をよく見て粘土をつけていく。 <p>【評価方法】</p> <p>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>
2 学期 30単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆彫刻 (20時間) <ul style="list-style-type: none"> ・滑石の特徴 ・彫刻作品の制作の進め方 ・アイデアスケッチ ・エスキースの制作 ・滑石彫刻の制作 ・展示 ・振り返り 	<p>細部や輪郭線等の平面的感覚にとらわれず、立体を面で大きく捉えて掘り出していくこと。</p>	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔らかい石、滑石を使い石彫の体験をする。 ・抽象、具象の説明をし、どちらかを選択して制作する作品の形をスケッチし、紙粘土でエスキースを制作する。 ・エスキースを見ながら石彫制作していく。 <p>【評価方法】</p> <p>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>
3 学期 18単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆木工(20時間) <ul style="list-style-type: none"> ・イスのデザイン ・デザイン考案 ・作品紹介 ・設計略図 ・試作づくり ・強度について ・制作 ・展示 ・振り返り 	<p>使う場面や機能、美しさなどを考えデザインする。</p>	<p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座りたい椅子をテーマに制作する。 ・組木の方法を知り、くぎを使用せずに制作する。厚紙などでの試作をくりかえし、強度や制作工程の効率など考える。 ・木材を使いイスの制作をする。 <p>【評価方法】</p> <p>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>